

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 広島県立尾道北高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒722-0046
広島県尾道市長江三丁目7-1

E-mail : onomichikita-h@hiroshima-c.ed.jp

Website : http://www.onomichikita-h.hiroshima-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 320名 女子 345名 合計 665名
児童・生徒の年齢 16歳～18歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 持続発展教育 (ESD) (国際理解) 世界遺産 平和・人権 (環境) 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ()
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

(1) 留学生との交流

テーマ「留学生との交流をとおして、主体的に行動できる人材の育成を目指す」

① 中国人留学生の受入れと交流

ア 期 日 平成23年10月21日(金)～23日(日)

イ 訪問者 中国高校生 21人 引率教員 3人

ウ 内 容

○ 校内に交流会生徒実行委員会の設置

・ 構成 23人（1，2年生）

・ 役割 交流プログラムの企画・運営

○ 訪問当日の内容

日にち	午前	午後
21日(金)	歓迎セレモニー	授業体験 交流会（夕食作り，会食） ホームステイ（本校生徒宅）
22日(土)	ホストファミリーと市内観光等	
23日(日)	茶道体験，着付け体験 市内散策	

② オーストラリア人，インド人留学生の受入れと交流

ア 期 日 平成23年12月12日(月)～14日(水)

イ 訪問者 オーストラリア人高校生1人，インド人高校生1人

ウ 内 容

・ 留学生はそれぞれ特定のクラスに配置

・ 該当クラスの交流会生徒実行委員会の生徒がパートナーとなる。

・ 放課後は交流会実行委員の生徒と交流会の実施

（2日目…ポストカード作り，3日目…クイズ大会）

(2) 外部講師を招聘しての講演会

① 国際理解教育に関する講演

○ 外務省出張講義

ア 期 日 平成23年10月26日(水)

イ 講 師 外務省 国際協力局 経済協力専門官 綱掛太秀

ウ 演 題 「国際協力を行う日本の現実」

エ 対 象 1年次生

オ 内 容 国際協力を行う日本の現実と海外青年協力隊の活動等の講話を通して持続可能な社会を構築するために，私

たちにできることは何かということについて考察した。

○ 駐大阪・神戸米国総領事館副領事による講話

- ア 期 日 12月2日(金)
イ 講 師 駐大阪・神戸米国総領事館ヴィー・ニャン副領事
ウ 演 題 「国際社会で活動する意義」
エ 対 象 1・2年次生
オ 内 容 米国との文化の違い, 国際社会で活動することの意義,
留学の意義等について

② 環境問題に関する講演(大学出張講義)

- ア 期 日 平成23年11月2日(水)
イ 講 師 九州大学大学院工学研究院環境都市部門
角 知憲教授
ウ 演 題 「交通システムと技術」
エ 対 象 1年次生
オ 内 容 持続可能な社会の実現にむけた有効な交通システム
の構築についての講話をいただいた。

(3) 2年次研修旅行におけるキャリア研修

① 期 日 7月28日(金)

② 内 容

大阪方面への研修旅行で進路希望グループに別に企業, 研究所, NPO等を訪問し, 事前学習で学んできた内容や課題について, 現場を実際に体験することによって学習の深化を図る。

③ 訪問先

生徒は, 29箇所の団体のうち1箇所を訪問,
ユネスコスクール, ESD教育と関連の深い団体
JICA大阪, 国際交流基金日本語国際センター, 積水ハウス, 淀川
キリスト教病院, 阪大医学部, JT生命誌研究館, 理化学研究所(神
戸)等

(4) 書きそんじはがきプロジェクトへの参加

① 時 期 1月20日(金)~2月22日(水)

② 協力枚数 1,164枚

(5) 主な成果

① 留学生との交流

- ・多くの生徒が草の根的な交流がやがては, 国際問題の解決につながるという認識に至った。
- ・交流をとおして, 日本文化の特色や良さを再認識することができた。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM
 その他（

■ 写真
）



中国人留学生歓迎セレモニー



英語の授業



夕食作り



着付け体験・散策



外務省「高校講座」



研修旅行

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いいたします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）